**定例記者会見発言録**

日　　時：令和７年７月29日（火）14時00分～

場　　所：伊達市役所東棟４階　401・402会議室

出　　席：市長、副市長、総務部長、未来政策部長、産業部長、月舘総合支所長

報道機関：時事通信社、河北新報社、福島民報社、福島民友新聞社

発表項目：市長から下記の内容について、別紙資料により説明

資料１　映画「ぼくが生きてる、ふたつの世界」伊達市上映会開催！

資料２　伊達市の桃（あかつき）を使用したスイーツを販売

資料３　イオンスタイル仙台卸町における伊達市産「桃」のトップセールス

資料４　伊達市ファンミーティング「一桃一会」の開催

資料５　「おての里きてみ～な」オープン２周年記念イベント

『広瀬川秋のサイクリング』の開催

資料６　市内で開催される夏のイベント

《質疑応答》----------------------------------------------------------------

**記者会見発表項目に関する質問なし**

**記者会見以外の質問**

記　者　連日の暑さで、全国的にも伊達市が暑いところということが広まっており、知名度も高まったのかと思いますが、計測されていく中で、例えば経済効果であったり、暑い効果というのは何か考えられているのか。

また、昨年からクーリングシェルターの運用が始まったが、それ以外の暑さ対策、来年以降、市として効果的な暑さ対策を考えなければならないと思いますが、どうお考えでしょうか。

市　長　連日の暑さは、危険な暑さと私は思っています。また、伊達市の報道が大きく取り上げられ、全国的に伊達市の地名度はアップしたと思っています。

しかし、これが本当に市民にとっていいことなのかというと、私も疑問があります。市民の皆さんには、この暑さをいかに体調不良にならないように過ごしてもらうかということに気をつけていただく必要があると思っています。

それから経済効果としましては、暑いということは、外に出る機会が少なくなるので、商店街での客足は落ちてくると思っています。

また、伊達市の特産である農産物、桃についてもあまり暑すぎると、今度は成長が止まってしまったり、雨が降らないので実が小振りになったり、日中も夜も暑いので寒暖の差がないので、色づきも悪くなってしまったりと、農作物には、よい影響ではないと思います。

この暑さについて、市民の皆さんには健康に留意していただき、水分を多めに摂る、無理に外出をしない、それからクーラーなどの冷房を適切に使用することをお願いしたいと思っています。

それからクーリングシェルターを市内に設置しておりますので、市民の皆さんにご利用いただいていると思いますけれども、ミストで暑さを和らげるなど、今年でこの暑さが終わるわけではないので、考えていかなきゃならないと思っています。

具体的にはこれから検討していきたいと思っています。